○各地の状況

北海道

北海道の景況は、公共工事が減少傾向、平成 30 年北海道胆振東部地震により、生産活動、観光がやや弱含むなど、**弱含み**。

個人消費は、インバウンド需要の減少などから大型小売店販売が減少したものの、乗用車販売が増加するなど、持ち直しの動き。**住宅建築**は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。**設備投資**は、観光客受入態勢強化投資や市街地再開発に向けた着工がみられるなど、持ち直し。**公共工事**は、道、市町村が減少するなど、減少傾向。**輸出**は、地震による港湾施設の一部損壊や物流の停滞などの影響が残るものの、原動機、ナマコが増加するなど、底離れ。

生産活動は、地震に伴う稼働停止や生産設備点検などから、石油製品、電気機械が減少するなど、弱含み。**観光**は、地震の影響により、国内客・外国人客ともに減少するなど、やや弱含み。**雇用**は、有効求人倍率が上昇するなど、回復。

先行きは、地震災害の影響が懸念されるものの、緩やかに持ち直すとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸　出	生産活動	観　光	雇用情勢

（注）景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で取りまとめたもの。